

## 日本の農家の営農・生活設計

-家族経営協定に関心をもつ農業者夫妻の生活時間配分-

○園田智子\*、粕谷美砂子\*\*、天野寛子\*<sup>3</sup>(\*南多摩農業改良普及センター、\*\*昭和女大・院、\*<sup>3</sup>昭和女大短大)

〔目的〕男女共同参画社会が推進されている。日本の農業をとりまく情勢が厳しい中で、女性農業者の能力を十分に発揮できる環境づくりが急がれている。農業者夫妻の生活時間配分の差を明らかにし、平等な営農・生活設計の樹立に役立つ理論を構築することを目的としている。

〔方法〕営農・生活設計と家族経営協定締結に積極的関心をもつ農業者夫妻50組（100人）を対象として、1999年10月、生活時間調査を実施した。配付回収は農業改良普及センターを通じて行った。

〔結果〕対象者の平均年齢は妻45才、夫49才、平均家族人数は5.7人である。農業者夫妻の生活時間構造は、平等な営農・生活設計を実現するものとはなっていない。夫妻の生活時間配分は農作業従事日においても、農休日においても、生活設計上不平等な状況である。妻は夫に比べ、生理的生活時間は短く、全労働時間は長く、社会的・文化的生活時間は短い。妻は、無償労働としての家事労働を農業従事日は96%、農休日は78%を担っている。調査期間中の対象者の農休日取得率は妻72%、夫62%であった。

	農作業従事日	
	妻	夫
生理的生活時間	10.30	11.09
農作業時間 (a)	7.12	9.29
家事労働時間 (b)	3.57	0.09
全労働時間 (a+b)	11.09	9.38
社会的・文化的生活時間	2.21	3.13